

http://www.minamih.net/



13・12・21(土)  
南NEWS NO69

## 少女 都大会ベスト8！！ 関東大会優勝の強豪に善戦！！ 第33回 東京都少女選手権中央大会 12/14 駒沢補助球技場

○南八王子 対 トヨニ 1-0 (前半0-0)  
得点者 村田さん

○テーマ 自分を信じて、自信を持ってプレーする  
いつも中央大会で本来の力を発揮できないで終わっていたため、この日の指示は「自信を持つこと」。他のチームに決して負けないトレーニングをずっと行ってきて、そして身に着けたスキルやスピード、そしてスタミナを信じてピッチに立ってみると。自信を持って臨めば極度な緊張などしないはずだと。

小さなミスはいくつかありましたが、素早いアプローチで相手を自由にさせずに、高いポジションで試合を進めることができました。でも 11 人制での狭いピッチは味方にはなりません。ドリブルするスペースがなかなか見つけられず、またゴール前を固めた相手をパスで崩すことは至難の業でした。そして打ったシュートは枠を外れ、キーパー正面と運も味方になってくれませんでした。

後半もっとミドルシュートを打って行こうと送り出しました。しかしゴール前の厚い守りを突破することは難しく、時間ばかり経ってしまいます。そこで、ワントップに村田さんを置いて超攻撃的な形で臨みます。そしてその場面は、後半 15 分に訪れます。右サイドでボールを受けた村田さんがそのままドリブル突破すると、ゴールライン手前で DF をかわしてゴール方向に切り替えしてきます。プルバックと思わせながら、角度のないところから自らがシュートを決めてくれました。結局これが決勝点となり、久しぶりに準々決勝進出となりました。全体的には、漆間さんが豊富な運動量でボールによく絡み、ピンチの芽を摘み、チャンスメイクまで良い仕事をしていました。

●南八王子 対 バディ 1-3 (前半1-1) 得点者 OG

○テーマ 相手を自由にしない、村田さんを利用した攻撃、遠目からゴールを狙う

さあ、準々決勝の相手は、11 月の関東大会で優勝したバディフットボールクラブ。失うものは何もありません。コーチとしては、トップレベルの相手に、みんなが何ができるのかが楽しみでもありました。

試合序盤では、相手のスピード、パワーに圧倒されそうになりますが、5分まで無失点に抑えると徐々に展開に慣れてきます。MF の曾根さん、漆間さん、山宮さん、平山さんや伊藤姉妹がボールを持った相手が判断する前に相手を囲み、ボールを奪うというサッカーが徐々に出てくると、ワントップの村田さんにボールがつながり、彼女のスピードとキレのあるドリブルを中心に攻め込むことができました。そして9分には、コーナーキックからチャンスを作り、ゴール前の混戦の中で相手を焦らせ、OG で得点をゲットします。直後にミドルシュートから同点にされますが、前半はほぼ互角に渡り合うことができました。

後半はやや防戦一方となります。センターバックの小沢さん、矢久保さん、そしてゴールキーパー飯島さんの堅守で相手の攻撃を跳ね返しますが、徐々に運動量が落ちてきて、集中力も鈍ってきたところで続けて失点してしまいました。



ベスト8で終わりましたが、関東大会では無失点で優勝した相手を焦らせた前半のサッカーは今年のベストゲームの1つだったと思います。良い経験をさせてもらいましたので、さらにレベルアップして次回こそ、ベスト8の壁を破ってみよう。尚、優秀選手ですが、体を張って何度もゴールを守ったキャプテンの小沢さんが選ばれました。おめでとう。  
by 飛田コーチ

## 第15回少女マリンカ杯 12/7(土) 小平第十一小

第一試合 ●南八王子 0-3 FC高円寺馬橋

試合開始直後の集中力のなさ、相手選手への寄せが遅い、味方選手へのフォローがないなど前半は悪いところばかりが目立つ試合でした。

しかし、後半は気持ちの入ったいいプレーが所々に見られました。そんな中でテクニックのある相手からきれいにゴールを奪われてしまったのはいい刺激になったのではないのでしょうか。特に2点目はサイドからドリブルで上がってきた相手がこちらの DF を1対1でかわし、中央に速いクロスボール。ゴール前にしっかり詰めていた選手が合わせるだけのシュート。とてもシンプルで効率的でした。相手の良いプレーから学ぶことも大切です。

第二試合 ●南八王子 1-1(PK2-3) 町田フェアリー忠生 得点者：小沢 K さん

試合開始直後からしっかり集中していました。右サイドからドリブルで駆け上がった渡邊さんが中央にクロスをいれたり、佐藤さんのパスカットからドリブル→シュート、相手ペナルティエリア付近でボールを持った吉田さんが後ろから上がってきた鈴木 NO さんにパス、鈴木 NO さんからサイドの大澤さんへ、そして中央の吉田さんへパス→シュートなど、ボールを持った選手へのフォローや、しっかり声を出してボールを要求する動きで面白いようにパスがつながり、シュートまで持っていくことができました。残念ながら得点にはなりませんでした。積極的なプレーの結果、危ない場面はありませんでした。

後半もキックオフから2本、3本と気持ちよくパスがつながります。15分には相手ペナルティエリア内で小沢 K さん→原さん→小沢さんとパス交換の後、小沢さんのシュート！待望の得点で1-0とします。しかし、直後にこちらのミスからゴール前で間接フリーキックを与えてしまい失点。その後も攻め続けますが、得点にはつながらず試合は PK 戦になりました。GK 榎本さんのナイスセーブもありましたが、PK 2-3 で敗戦。内容では勝っていただけに PK 戦での負けは悔しい結果です。



この日、印象に残っているのは試合後のみんなの本当に悔しそうな顔。練習をがんばっているから、だんだん自信がついてきたから、勝ちたいと強く思っていたから負けた時の悔しさが大きくなるのです。

技術や足の速さだけでなく、気持ちの面でもみんなの成長を感じることができた一日でした。

by 少女4年生の吉田芽衣さんのお父さん